

市民ネットワーク 市議会速報

2021年
7月26日発行

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com

会派 市民ネットワーク

川口えみ 松島こずえ 五十嵐ともみ



6月市議会 (6/7 ~ 6/28)

市長！「子どもの権利条例」はまだですか

●公約の実現は先延ばし

「子どもたちは将来の佐倉市を担うかけがえのない存在」が市長の常套句。公約では「子ども権利条例制定」を掲げていました。

今、コロナ禍で子どもたちのさまざまな困難の状況が明らかになっています。子ども自身の権利「育つ権利、健康を守る権利、教育を受ける権利」が侵害され続けています。今議会で、市長公約の条例の制定を求めましたが、「コロナがひと段落したら検討する」と先延ばしの答弁。

●ヤングケアラーの背景には

大人と同じように家族の世話や介護を担う18歳未満の子どもたちヤングケアラー。昨年の国の調査では、中学生の17人に1人いると公表されました。勉強時間が削られたり、部活動をやめるなど、過度な負担が報告されています。

佐倉市が把握しているのは、2018年度は9人、2020年度は15人と増えています。これは虐待を受けている子どもたちの該当者数の一部であり、全体像は把握されていません。実態をつかむため、市独自の調査が必要です。

ヤングケアラーの背景には、家庭の貧困や虐待問題が潜んでいます。子どもたちが苦しい思いをしているコロナ禍の今だからこそ、「子どもの権利条例」を制定すべきです。

水道料金 値上げは中止を!!

市は、水道料金の値上げを決定しました。市民の値上げ幅が大きく、大企業は低い料金設定です。取りやすいところから取るというわけです。市独自の生活保護減免も廃止されています。コロナ禍で苦しい家庭が増えているので、値上げは中止すべきです。

ペットボトルの回収方法 変更か!



今、私たちはペットボトルをスーパーに持っていきます。これを拠点回収と言います。市はこの拠点回収をやめて、各ごみステーションの回収に変更し、ペットボトルも「その他プラ」の黄色い袋に入れて出すことになります。これでは分別の意味がありません。

近年は気候変動のため豪雨等自然災害が頻発しており、原因となるCO2削減のために環境に配慮することが必要です。

市の突然の方針転換は、市民に浸透していた分別意識に逆行するものです。

ペットボトルはできるだけ買わずに、マイボトル持参を市民ネットワークは進めています。

新型コロナワクチン予約混乱

ワクチン接種予約は電話・インターネットとも繋がりにくく、改善を要望しました。電話回線は増設できず、インターネットはサーバー2台増設。ワクチンの安全性や副反応、治療方法について疑問や不安を持つ市民もいるので、個人の判断を尊重するように求めたところ、「接種は強制ではない。メリットとデメリットを理解し、自らの意思で接種していただく。接種していない人に差別的な扱いをしないよう周知啓発をしている」とのことです。

ワクチンだけでコロナ収束は困難です。イギリスのようにワクチン先進国でも感染は増えています。同時にPCR・抗原検査を積極的に行うことが必要です。安価な抗原簡易キットを飲食店や薬局で配布し、いつでも誰でも何度でも、検査できる体制を整えるべきです。

国の2030年CO2排出削減を求める 請願が否決に!

「電源構成を変更し、CO2排出の最大要因の石炭火力や老朽化した原発の再稼働を含む原子力発電を廃止、再エネを60%から100%に」との請願に対し、さくら会・公明党・自由民主さくら、高橋議員、玉城議員の反対多数により否決されました。



ストップ気候危機全国アクションスタンディング (市役所前で) 6/7

新佐倉図書館 地盤が悪く費用高騰!

建設地は2019年の地質調査で重量構造物に適さないと判明したため設計変更し、地上3階建てを2階建てにしたのではないかと議会質問しました。地盤に不安が残るため従来型の基礎工事でなく、地下25mまで届く杭を62本も打ち込む工法にしたため約**1億4千万円**も増額になりました。また、元々5000万円と公表していた巨大なキャノピー(ひさし)は諸経費を含め約**1億円**。日よけにも雨よけにもならない無駄な装飾はいりません。

これに1億円も!?



県・市議会報告会

8月22日(日)13:30~
スペース結にて
どなたでもご参加ください。

1枚になったハザードマップ

市民ネットは、以前から洪水・土砂災害などの情報を一枚にしたハザードマップを作るよう提案してきましたが、今、国交省が全国各地の情報を集め、「重ねるハザードマップ」を公開しています。インターネットで検索して、自宅の災害リスクを確認してみてください。紙ベースの防災地図は、年度内に市が配布予定です。

「通園・通学路等の交通安全点検および対策に関する要望書」を提出しました

上記の要望書を7月13日、市長と教育長に提出しました。詳細はさくら・市民ネットワークのホームページをご覧ください。



市民ネットワーク(五十嵐、川口、松島) 提出の意見書

	「デジタル改革関連法」施行の凍結を求める意見書	「重要土地調査規制法」施行の凍結を求める意見書	非人道的な入管収容制度と、世界的に類を見ない閉鎖的な難民認定制度を抜本的に見直すことを求める意見書
賛成	ネット、共産党、稲田、藤崎	ネット、共産党、稲田、藤崎	ネット、共産党、稲田、ひまわり・市民オンブズ、玉城
反対	さくら会、公明党、自由民主さくら、宇田、玉城、高橋	さくら会、公明党、自由民主さくら、宇田、玉城、高橋	さくら会、公明党、自由民主さくら、高橋

さくら会(中村、櫻井、石渡、平野、高木、為田、敷根、岡野、密本、斎藤(明)) 公明党(岡村、久野、鍋田、押木)、自由民主さくら(山本、徳永、石井、齋藤(寛)) 共産党(萩原、木崎) ひまわり会と市民オンブズマン(藤崎、宇田)